

今回のテーマは
**新しい
アルツハイマー病
治療薬の続報！**



認知症疾患医療センター
センター長
谷内 弘道

前回、「アルツハイマー病治療薬候補のレカネマブが承認申請！新時代の治療薬になるか？」と、ご紹介させていただいたアルツハイマー病新薬が、医療保険の適用となり、令和5年12月20日から使用開始となりました。軽度認知障害から軽症のアルツハイマー病の人で、使用開始前の検査でアミロイド陽性が確認・この薬の成分に重篤な過敏症がない・血管の原性脳浮腫がない・微小脳出血が4個以内・脳表ヘモジデリン沈着がない・1 cm以上の脳出血がない人が対象になります。この薬は2週間ごとに病院へ行って約1時間かけて点滴静注し、脳神経細胞に悪影響を与えるアミロイドβを除去します。効果は1年半の使用で約6か月認知症の進行を遅らせるそうです。気になるお値段ですが・・・

なんと!!!

1年間で298万円だそうです❀❀

しかし、70歳以上の一般所得層（年収156万円～約370万円）の人では、高額療養費制度を利用することによって1年間に14万4千円ですみます。また、70歳未満の人や70歳以上で370万円以上の所得の人でも高額療養費制度の利用は可能で、収入に応じてかかる医療費は変わりますが、298万円よりは安くなります。

問題点は、①治療の副作用として脳浮腫（13%）や脳出血（3%）などのリスクが生じることや（多くは軽症のようです）、②2週ごとの通院に加えて使用開始前検査（アミロイドPETでアミロイド陽性を確かめるためには札幌まで行かなければなりません）や使用中も定期的なMRI検査などのためにご本人とご家族の時間的・経済的負担が増すことです。

それでも、この新薬で認知症の進行を遅らせることが期待できそうなために、私は準備を進めてきました。

ところが、この薬を多くの人で使用すると日本の保険財政を圧迫することになるためなのか、この薬を使用するための条件が厳しく、大変残念なことなのですが、亀田北病院ではこの薬を使用することができません。

道南にこの薬を使用できる病院ができることを願っています。



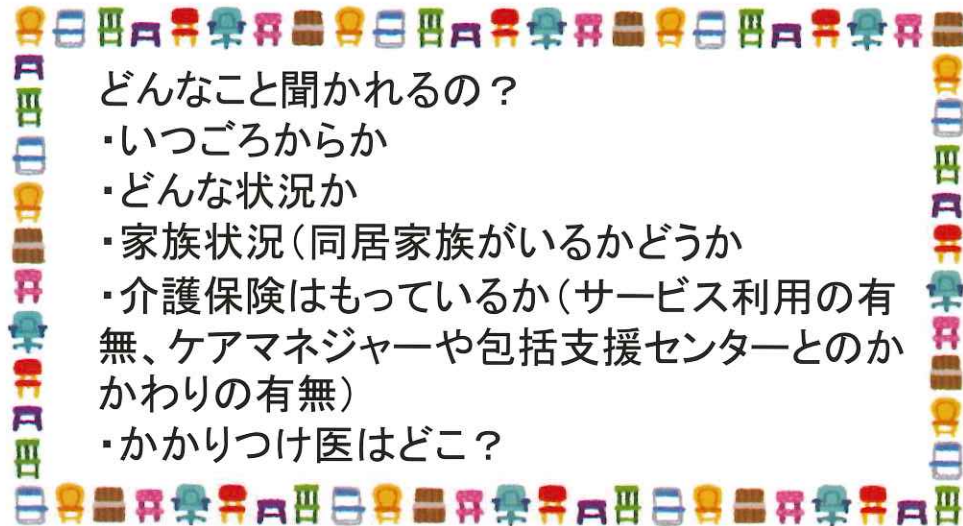
菜の花は春を告げる花❀花言葉は元気いっぱい、明るさ、希望...
みんなの心を明るくする花ですね❀

～認知症疾患医療センター受診の流れ～

ここで、当院の認知症疾患医療センター(もの忘れ外来)の受診の流れについて再度おさらいしたいと思います。

①電話で予約(面談でも可です)

まずは電話等でご相談をいただきます。予約が混みあっている時期だと数か月待機になることもあります。電話の中でいくつかの質問をさせていただきます。



②問診票の記入

事前に問診票をお渡しします。外来受診日までに記入して当日受付職員にお渡しください。

～受診日当日～

③事前検査

頭部CT・心電図・胸部レントゲンや心理検査を必要に応じて行います。

④診察

診察の際、必ず、ご本人の症状や、これまでの経緯がわかるかたとご同行してください。

⑤事後フォロー

必要に応じて処方された薬の説明や、介護保険制度について、在宅生活についての相談も受け付けています。

お気軽にご相談ください

※初回受診は時間をお取りしますので、余裕をもって来院してくださいと幸いです。

感染症にご注意を！

新型コロナが世間を騒がしてから早4年。一時は落ち着いた時期もありましたが、今年の冬は当院でも猛威を振るいました。

他にもインフルエンザB型が10年に1度の
大流行といわれていたり、子供の病気と思われがちな溶血性連鎖球菌(溶連菌)の感染注意報が函館市でも何度かでていました。

咽頭痛がある、熱がある、でもコロナもインフルの検査も陰性有的时候には溶連菌を疑っても良いかもしれませんね！

●職員紹介●

1月から配属されました、岩崎と申します。日々、あっという間に過ぎていきますが、これから段々暖かくなって、春にたくさんの花が咲くのを見るのが今から楽しみです。冬の間、動かず食べてばかりいたので、運動は苦手ですが歩いたり体を動かす機会を増やしたいと思っています。穏やかな暖かい日が続き、皆様にとっても過ごしやすい日が増えるといいなと思っています。



岩崎 真理

社会医療法人 文珠会 亀田北病院

認知症疾患医療センター

041-0802 函館市石川町191番地4

電話(代表)0138-46-4651

FAX 0138-46-6533

認知症疾患医療センター(直通) 0120-010-701

編集担当 山田・岩崎・本間

